

令和7年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立大信小学校長

令和7年4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数、理科の3教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部分であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	66.8%					○
算数	58.0%	○				
理科	57.1%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	76.9%					○
情報の扱い方に関する事項	63.1%					○
我が国の言語文化に関する事項	81.2%					○
話すこと・聞くこと	66.3%		○			
書くこと	69.5%		○			
読むこと	57.5%					○

【考 察】

- 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づく問題では、高い正答率が見られました。日常生活を通して、世代によってものの呼び方が違うことを経験していることが正答につながったとも考えられます。さらに読書の機会を増やしながら、言葉への関心を高めていけるように指導していきます。
- 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして文章の構成を考える問題で課題が見られました。日頃から何を伝えたいのかをはつきりさせて、内容のまとまりや段落構成などを考えながら文章を書くように指導していきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	62.3%	○				
図 形	56.2%	○				
測 定	54.8%	○				
変化と関係	57.5%		○			
データの活用	62.6%			○		

【考 察】

- 「図形」の領域では、平行四辺形や台形の意味や性質について理解しているかを見る問題に課題が見られました。図形の意味や性質について正しく理解できるよう、身の回りにある図形にも触れるなど、日常生活と関連させた算数的活動を取り入れていきます。
- はかりの目盛りや数直線上の分数を読む問題に課題が見られました。基礎・基本の確実な定着を図るために、既習の内容を定期的に復習したり、数の表し方や数の構成に着目し、説明したりする活動を多く取り入れていきます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
エネルギー	46.7%					○
粒 子	51.4%					○
生 命	52.0%					○
地 球	66.7%					○

【考 察】

- すべての領域で全国平均を上回りました。特に「エネルギー」の領域では、どの問題も全国平均正答率を大きく上回り、電気の性質や回路についての知識が身についています。
- 実験の結果から新たな課題を見いだし、表現する問題に課題が見られました。実験結果をもとに、他の条件での結果を予想したり、新たな問い合わせを見いだしたりして表現する力を育てていきます。考察の際に、自他の考えを比較する活動を取り入れ、子どもたちが問い合わせをもち続けられるような指導をしていきます。

令和7年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立大信小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合って、家庭生活の見直しに役立ててくださいようお願いします。

1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
小	全 国	32.6	49.1	15.3	2.8
6	大信小	25.0	58.3	16.7	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 多くの児童が、自分で学び方を工夫して学習しています。分からることは自分で調べたり、友達と学び合ったりして主体的に学習に取り組み、解決することができます。
- 授業の中でも、新たな課題を見つけたり、もっと知りたいと思ったり意欲的に学習に取り組めるように、日々の授業を工夫、改善していきます。

2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	12.1	12.8	29.1	27.4	12.9	5.7
6	大信小	0.0	8.3	25.0	62.5	4.2	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 本校が目標としている「学年×10分+10分（6年生は70分）」を達成していない児童が多く見られます。家庭学習の習慣が身につくように宿題の内容を工夫したり、自主学習が充実したものになるように指導したりしていきます。
- 学習の手引きをもとに、家庭学習の充実に努めています。児童が励みになるように自主学習の内容を紹介し合ったり、取り組む内容について指導したりとよりよい家庭学習ができるように働きかけていきます。また、メディアとの関わり方についても指導し、家庭学習の時間の確保に努めています。ご家庭での励ましの声かけをお願いします。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	31.2	48.2	17.1	3.3
6	大信小	37.5	54.2	8.3	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 学習した内容を振り返り、次の学習につなげていこうとする様子がうかがえます。今後も分かっていることを生かして課題解決につなげたり、分からなかったことはそのままにせずに解決したりしようという意識をもって学習に取り組むことができるよう指導していきます。
- 自分の学びを振り返る時間を大切に授業を行っています。授業の中で分かったことや分からなかったことを見つめ直すことで、次の授業でもこれまで学習したことを見直して学ぶことができます。今後も自分の学びを振り返る時間を大切に授業を行っていきます。

4 授業や学校生活では、友達や周りの人の考え方を大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	49.9	42.0	6.4	1.5
6	大信小	70.8	25.0	4.2	0.0

(単位 %)

【考 察】

- ほとんどの児童が「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答しているのは、本校が目指す友達と安心して学び合うことのできる学級を土台とした学びのよさを実感できる授業づくりを実践してきた成果です。
- 今後は、友達同士が互いに認め合う機会を授業以外でも増やしていき、児童の自己肯定感が高まるようにしていきます。また、楽しい学校生活を送るためのアンケート（Q-Uテスト）を活用し、学級の実態を把握して、一人一人が互いに認め合い、安心して学校生活を送れるようなよりよい学級集団づくりを目指していきます。